

第2学年題材指導計画

おんがくとお話でたのしもう（9時間扱い）

1. 題材のねらい

歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら表現を工夫し、心を込めて歌うことができる。
楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに表現したり聴いたりすることができるようにする。

2. 教材について

(1) 「ないた 赤おに（原作 浜田広介 作詞 佐田和夫 作曲 石桁冬樹）」

《学習指導要領第1・2学年の内容との関連》

A(1)ア、 A(2)ア、 A(3)ア、 A(4)イ、 B(4)ア

赤鬼と青鬼の友情を描いた物語を題材にした歌である。歌詞の内容から感じ取った雰囲気や気分などを表情豊かな歌い方に生かしていく活動をすることができる。原作に触れる機会をもち、場面の様子を想像したり、二人の鬼たちの心情などにも触れたりしながら、表現の仕方を工夫したい。

(2) 「めんどりとおんどり（作曲 サン・サーンス）」他

《学習指導要領第1・2学年の内容との関連》B(2)ア

全14曲からなる組曲「動物の謝肉祭」の中の1曲で、第2曲目に収められている。この曲はめん鳥の主題におん鳥の主題が続き、楽器の音色を生かした鶏の鳴き声という点から描写力に富んだ曲である。また、「たまごのからをつけたひよこのおどり」は、組曲「展覧会の絵」の中の1曲で、ひよこが鳴きながら動き回る様子が描かれている。対照的な2曲を、鶏たちの動きの様子を思い浮かべて聴いたり、小さな動物が走り回るようなおどけた様子を思い浮かべて聴いたりして、それぞれの雰囲気の違いを感じ取って想像豊かに聴くようにしたい。

(3) 「あいしてる（作詞 谷川俊太郎 作曲 谷川 賢作）」 音楽発表会の曲

《学習指導要領第1・2学年の内容との関連》A(1)ア、A(2)ア

「好き」「あいしてる」とは、どういう気分のことなのかを思い浮かべながら、それを軽く楽しく歌う曲である。言葉の楽しさを生かして、身体表現をしながら歌うことができる。シンプルなメロディラインのようであり、音程があちこちに移動するので、元気な中にも丁寧さを忘れずに歌うようにしたい。

(4) 「雨の歌（作詞 佐々木香 作曲 谷川賢作）」 音楽発表会の曲

《学習指導要領第1・2学年の内容との関連》A(2)ア、A(3)ア

雨粒の音を「ぴったんぽったん」とかわいらしく表現している楽曲である。やわらかく歌う中にも強弱をつけ、跳躍音を生かした表現をすることができる。自分が歌うところと友達の歌を聴くところとに分けて、アンサンブルの初歩としても親しむようにしたい。

(5) 「虹の歌(作詞 佐々木香 作曲 谷川賢作)」 音楽発表会の曲

《学習指導要領第1・2学年の内容との関連》A(2)ア、A(3)ア

「雨の歌」に込めるようなゆったりとした気分の曲である。シンプルなメロディラインなので、歌声に気を付けながら丁寧に歌うことで、自然とよい仕上がりになる。歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら、虹を実際に自分たちが作っているんだという気持ちで歌い、気持ちを込めた歌い方を工夫していきたい。

(6) 「Make A Wish～ねがいごと～(作詞 佐々木香 作曲 谷川賢作)」 音楽発表会の曲

《学習指導要領第1・2学年の内容との関連》A(2)ア、A(3)ア

子どもたちの夢が膨らんでいくような優しいワルツである。「Make A Wish」の歌詞の部分にあるドミソの跳躍音や次に続く跳躍音と、順次下降音が歌詞に合わせて巧に使い分けられ、自然に体を拍に合わせて歌いたくなるような気分を感じ取ることができる。広い音域だが、低い音の時にも明瞭な発音で歌詞が聞き取れるようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への関心意欲 態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材 の 評 価 規 準	進んで表現の仕方を工夫をしたり、繰り返し音楽を聴いて楽しんだりしている。	身の回りの自然の音の響きに注目し、自分の表現したいことのイメージを広げている。	歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら演奏している。	場面の様子や動きを感じて聴いている。

学 習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	<p>お話を歌や体の動きで表現することに興味をもち、進んで聴いたり表現したりしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>お話に興味をもって楽しんで表現</p> <p>発表を聴いて、進んで友達のよいところを見つけようとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>友達の表現の良さをアドバイス</p>	<p>登場人物の様子や気持ちを想像して、歌い方や身体表現の仕方を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>曲のイメージを感じ取って生き生きと身体表現</p> <p>歌詞の内容や擬態語、擬音語に合わせた音や表現を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>歌詞を生かした身体表現</p>	<p>役になったつもりで、伸び伸びと身体表現したり、表情豊かに歌ったりしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>気持ちが伝わる表情や歌い方</p> <p>曲の雰囲気を感じ取りながら歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>声の出し方、表情に気を付けて</p>	<p>場面の様子を感じ取って聴いている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>様子を思い浮かべて、想像豊かに</p>
---	--	---	--	--

4. 指導と評価の計画（9時間扱い）

：取り扱い項目

：取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価規準	指導要領と の関連	内容のまとまり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>《ないた 赤おに》</p> <p>お話を聴いたり読んだりして、物語全体の感じをとらえる。</p> <p>・「ないた 赤おに」のお話を、読んだり聴いたりする。</p> <p>・範唱を聴いて、1～3番の歌詞がお話の筋になっていることに気付く。</p> <p>・1～3番の歌詞から場面とその様子を想像し、感じたことを発表する。</p> <p>・グループで、朗読・赤鬼・青鬼の役に分かれて音読する。</p>	<p>ア -</p> <p>イ -</p>	<p>A(1)ア</p> <p>A(2)ア</p>					<p>表情観察</p> <p>行動観察</p> <p>音読練習の様子</p>

2 3	<p>場面の様子に合った歌い方の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDを聴いて、主旋律を歌う。 ・せりふの部分の歌い方を工夫する。 <p>場面の様子に合わせて、赤鬼・青鬼になって、身体表現の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話の場面を考える。 ・場面ごとに、聞こえてきそうな音や言葉を想像して動作化する。 ・擬態語・擬音語を工夫しながら身体表現をする。 ・役ごとにグループを決めて、身体表現や音づくりを楽しむ。 	イ - イ - イ -	A (2) ア A (2) ア A (4) イ					<p>行動観察 演奏聴取 身体表現 発表・発言</p>
4 5	<p>歌に朗読や身体表現を加えて、全体の表現をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、お話の内容に合った歌い方やつくった表現が友達にもよく分かるよう、仕上げの練習をする。 ・場面ごとに発表したり、見たりする。 ・友達のよかったところを発表したり、感想をカードにまとめたりする。 	ウ - ア -	A (3) ア B (1) ア					<p>演奏発表 学習カード</p>
6	<p>《あいしてる》</p> <p>お話を聴いて、発表会の楽曲全体の雰囲気をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、曲全体の感じをつかむ。 ・範唱に合わせて歌う。 <p>歌詞の気分を感じ取りながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラヤランを軽く楽しく歌うようにする。 ・軽快なリズムに合わせて身体表現をしながら歌う。 	ア - ウ -	A (1) ア A (2) ア					<p>表情観察 行動観察 歌唱聴取</p>

7	<p>《雨の歌・虹の歌》 曲全体の感じをつかんで歌う。 ・範唱を聴いて、感じたことを発表する。 ・範唱に合わせて歌う。 歌詞の気分を感じ取りながら歌う。 ・ゆったりとした気分を生かして歌う。 ・どんな気持ちで歌いたいか話し合う。 ・友達や教師の考えを生かし、雨や虹を自分たちが作っている気持ちで、発音に気を付けながら、表情豊かに歌う。</p>	イ - ウ -	A (2) ア A (2) ア					表情観察 行動観察 歌唱聴取 発表
8	<p>《Make A Wish～ねがいごと～》 曲全体の感じをつかんで歌う。 ・範唱を聴いて、感じたことを発表する。 ・範唱に合わせて歌う。 歌詞の気分を感じ取りながら歌う。 ・3拍を1拍と感ずるように身体表現をしながら歌う。 ・歌詞の内容から想像したことを発表し合う。 ・跳躍音や発音に気を付け、自分たちの願いがいつか叶うような気持ちで歌う。</p>	イ - ウ -	A (2) ア A (2) ア					表情観察 行動観察 歌唱聴取 発表

